

## 大腸菌由来FMN還元酵素 (Fre) 、組換え品

Cat. No. NATE-1744

Lot. No. (See product label)

### はじめに

〓明	E.coli
用途	細菌 (E. coli) NAD(P)H依存性FMNオキシドレダクターゼは、E. coliで過剰発現された約26kDaの組換えタンパク質です。クローン化されたFreの配列 (SwissProtアクセッション番号P0AEN1) は、DNAシーケンシングによって確認されました (100%の同一性)。
別名	NAD(P)H:フラビンオキシダーゼ; NAD(P)H:フラビンモノヌクレオチドオキシダーゼ; NAD(P)H(2):FMNオキシダーゼ; NAD(P)H-FMN還元酵素; NAD(P)H依存性FMN還元酵素; NAD(P)H:FMNオキシダーゼ; リポフラビンモノヌクレオチド還元酵素; フラビンモノヌクレオチド還元酵素

### 製品情報

種	FMN還元酵素
外〓	バイオルミネセンスルシフェラーゼとFMN-NAD(P)Hオキシドレダクターゼのカップリングは、NADHおよびNADH依存性、NADPH依存性酵素の基質 (例: グルコース、乳酸、マレート、エタノール、ソルビトール、オキサロ酢酸) の定量のための超高感度分析ツールを提供するために使用されています。FMN還元酵素は、ルシフェラーゼ酵素調製物にしばしば存在し、NAD(P)Hの存在下で光を生成するのに十分であるかもしれませんが、高度に精製され特性が明確なFre酵素は、感度の向上、信号強度と持続時間のより良い制御、ルシフェラーゼ酵素の節約などのいくつかの利点を提供することができます。
EC番号	EC 1.5.1.29
分子量	26kDa
活性	>2U/mg
単位定義	1単位のFMN還元酵素は、pH 7.9、37°Cで1分あたり1.0 μmoleのFMNとNADHをFMNH <sub>2</sub> とNADに〓換します。

### 使用法とパッケージング

包装	安定した凍結乾燥形態
----	------------